

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

# 小中一貫・CS 通信

NO.62 R6.5.31 幕別町教育委員会 学校教育推進員

「人出がコロナ禍前の水準に戻った。」「たくさん来過ぎてオーバーツーリズムが問題になっている。」などのニュースを見聞きするようになりました。5類移行後初めての大型連休は大いに賑わったようです。学校では今、新しい形に工夫された体育祭、運動会の季節を迎えています。中学校の体育祭では、生き生きと躍動する中学生の姿がたくさん見られ大きな盛り上がりを見せました。各学園の取組が今年も力強く進むと予感させる行事となりました。続く小学校の運動会も楽しみです。

さて、今月号は新たに発足した CS・地学協働活動推進委員会の報告と各学園の運営協議会の紹介です。

## CS・地学協働活動推進委員会開催 4/23

CS と地域学校協働活動を一層進めるために、教育委員会内の学校教育課と生涯学習課にまたがる推進委員会が作られ、4月23日（火）その第1回会合がもたれました。

CS・地学協働活動は社会教育分野で担当することが多いのですが、学校に関わる活動が多く学校教育と社会教育の連携で進めることが極めて大事になります。そこで、幕別町では教育委員会内の2つの課のメンバーで推進委員会を作り、連携して活動を進めていくことになりました。

会合では、推進委員会の意義や役割が確認され、町内のCS・地学協働活動の様子について情報共有がなされました。また、年間スケジュールも確認され、第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議の前段で地学協働活動についてのミニ学習会的な企画を実施することが決まりました。

今回、統括コーディネーターが正式に位置付けられ、町全体の地学協働活動推進のために動き出すことになりました。推進委員会の事務局業務も担当します。今後は、推進委員会がCS・地学協働活動支援の中心となり、各学園の実情に合わせた支援を工夫することで、教育委員会としての伴走機能を果たしていくこととなります。地学協働活動に関わる質問や相談などは、お気軽に統括コーディネーター（佐藤）までお寄せください。よろしく申し上げます。

CS・地学協働活動推進委員会 委員長 白坂博司教育部長  
委員 石田晋一生涯学習課長 松田貴尚社会教育係長 吉田享平社会体育係長  
酒井貴範学校教育課長 甲谷英司学校教育係長  
佐藤充弘学校教育推進員（兼 統括コーディネーター）

## 各学園の学校運営協議会の紹介

幕別町では、小中一貫校である学園ごとに学校運営協議会が設置されています。それぞれ学園の特長に応じて、運営協議会の活動も少しずつ違ってきます。以下、紹介していきます。

### 義務教育学校移行へ全力支援！

### まくべつ学園学校運営協議会

まくべつ学園の最大の目標は義務教育学校への移行を円滑に進めること。それを全力で後押しする活動を中心に取り組んでいます。

地域の方々に広く活動の様子を知ってもらい、地域学校協働活動の充実を図るために、5月15日には地域と合同のあいさつ運動を企画しています。学園・学校のために何ができるかを真剣に考える熟議が多



くなされ、その中から学校と地域の新たなつながりが生まれる成果もあがっています。

年度の重点や振り返りもしっかり行われ、運営協議会としての自立した活動がだんだんと形になってきています。

運営協議会委員（まくべつ学園）◎会長 ○副会長 以下同じ					
◎森	廣幸	稲上	豊彦	小田嶋知之	渡部真矢子
○小山	秀樹	七島	幸雄	小俣	香織

## 自ら行動する運営協議会！

地域と学校の結びつきが強い糠内・明倫地区にある糠内学園では、委員が自ら動いて新しい取組を実現していく行動する運営協議会となっています。奄美大島とのオンライン交流は委員自ら各部署に働きかけて道筋をつけ実現させたものです。そのほかのアイデアも先に話を通してることが多く頼もしい存在になっています。また、運営協議会のことがあまり知られていない現状を何とかしようと、3月下旬には委員が手分けして

## 糠内学園学校運営協議会



### 運営協議会委員（糠内学園）

◎橋詰	一也	和田	恵	佐藤	朋康
○黒沼	茂樹	谷内	弘尚	松岡	賜徳

各学校を訪れ、運営協議会についての保護者向けミニ説明会を開催しました。

自ら動く姿勢が、「運営協議会のメンバーがそのまま兼任しての地学協働本部」設立の大きな力となっています。

## 熟議後の取組を模索、具体化へ！



画にまとめることが当面の取組となります。学校サポーターの募集も続けられていますので、多くの力を結集し実践する1年にしたいものです。

## さつない学園学校運営協議会

「学校運営協議会ができること」をテーマに複数回の熟議を重ね、「環境美化」「安心・安全」「学習」の3つの分野での支援が可能ではないかというところまで論議が進んできました。今年度は、その具体化が目標になります。児童生徒ともに行うゴミ拾い活動や登下校の見守り活動、先生方の手が足りない時の量的サポートや地域の教育力を生かした学習の質的サポートなど、具体的な企

### 運営協議会委員（さつない学園）

◎岡田	義行	高橋	西樹	熊田	由幸	若松有美衣
○佐々木	英行	淡路	佳子	塚本	逸彦	貝森 司

## 活発な地学協働活動との連携も！

札内東学園の運営協議会では、日本が実現を目指しているSociety5.0社会の様子を総務省や経団連等の動画で繰り返し学習し、子ども達が将来その世界で生きていくために身に付けるべき力は何かのテーマで熟議を続けてきました。その内容は学園の重点「考動（考えて行動する）」に結実し、学園3校が共通して掲げる目標となりました。

また、会長、副会長が地域コーディネーターとして地学協働本部に関わり、学校サポーター「きたよー」のメンバーも協議会委員を務めるなど連携が図られています。

### 運営協議会委員（札内東学園）◎堀川 貴庸 ○岡部 直子

原田	啓二	高木美佐子	村上	隆紀	居川	修
澤	勝巳	山本美智子	玉川	雅子	鈴木	晴恵



まだまだ、手探り状態の活動ですが、まずはやってみようとの姿勢が強い運営協議会になっています。

## 活動の年間サイクルが充実！

## ちゅうるい学園学校運営協議会



ちゅうるい学園の運営協議会では繰り返しの熟議から学園の目標を「新しい つながり」と定め、それに迫るための方針、実際の活動、そして学園評価による振り返り、という流れを確立させています。

学園体制も、先生方で作る教進会と、地域の方々で作るCS委員会（運営協議会）の2つがちゅうるい学園を構成する、と分かりやすく整理され、学校と地域が一体となって取り組むことを可能にしています。

学園・学校を支える地域のネットワークも強く、活発に行われているふるさと学習・キャリア教育への地域の協力は絶大です。運営協議会がその様子をしっかりと把握し、学園・学校とともに教育活動を進める姿勢で活動しています。

運営協議会委員（ちゅうるい学園） ◎加藤 茂樹 ○香西 浩志 五十嵐克幸 森 徹  
鈴木亜希子 伊藤美登里 西川 寿子 矢崎 圭子 鳥毛 浄生 千葉 勝博

（幕別町では幕別清陵高校、中札内高等養護学校幕別分校にも運営協議会が設置されています。）

## 地域学校協働活動の第1弾「あいさつ運動」開催！ まくべつ学園

5月15日(水)、「地域とともに子どもを育てる」「子どもとともに地域が活性化される」を合言葉に、まくべつ学園学校運営協議会が地域学校協働活動の仕組みをつくり、まくべつ学園近隣の町内会に呼びかけ実現した活動の第1弾。当日は、近隣から40名の方々が集まり、あいさつ運動を行いました。この日は、まくべつ学園の児童・生徒会による合同あいさつ運動も実施しましたの



で、児童生徒と合わせて60名ほどの参加となりました。

参加した町内会の方からは、「子どもたちから元気ももらえ。」「参加して、地域の方々と触れ合うことができるいい機会をもらった。」「気軽に参加でき、子どもたちからも笑顔や元気ももらえた、とても気持ちのいい朝になった。」などの声をいただきました。今後も、学校運営協議会にてさらなる熟議を重ね、気軽に参加でき、持続できる活動を進めていく予定です。

### 小中一貫教育・CS関係 6月の動き

- 4日(火) まくべつ学園三役会議 糠内学園地域学校協働本部会議・運営協議会  
ちゅうるい学園花いっぱい運動（小1・2、中2参加）
- 11日(火) まくべつ学園地域連携委員会
- 13日(木) ちゅうるい学園小中合同体力テスト（小5・6、中1 シャトルラン）  
札内東学園運営協議会
- 18日(火) さつない学園小中合同あいさつ運動（南小前）
- 19日(水) さつない学園授業参観交流 札内東学園ノーテレビノーゲーム・読書強化デー
- 20日(木) 糠内学園経営会議
- 24日(月) 札内東学園挨拶運動週間（～28日）
- 25日(木) 糠内学園中学校登校による乗入授業（～27日）
- 28日(金) さつない学園児童生徒指導交流